

## 式辞

梅の花は寒い中に気高く咲くところから古来、『忍耐強く学ぶ知性の象徴』とされた花であります。その梅が香り、だいぶ春めいてまいりました本日、第 68 回相愛中学校卒業証書授与式を挙げていたしましてところ龍谷総合学園事務局より辻本順爾様をはじめ、同窓会、育友会および各会々長のみなさま、多数のご来賓のご臨席を賜り感謝いたします。

卒業生 44 名のみなさま、ならびにご列席くださいました保護者のみなさま、相愛中学校の課程を修了されましたお嬢様が卒業なさることを心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

さて、私の式辞は、相愛中学校の三年間であなた方が身につけられた大事なことを三つ振り返ることにしましょう。

1 つめ、『校門一礼』の札が校門に立っています。「登下校に際し、仏様にごあいさつしましょう。」と私は言いました。「おはようございます。今日の私を見ていてください。」 「さようなら、一日ありがとうございました。」・・・のあいさつです。登校の時は歩みを止めて、そのまま正面に向かい一礼しやすいものですが、下校時は一度振り返って一礼しなければなりません。つい忘れてそのまま帰る人も多いと思います。仕方ないです。仏様のこと、きっとその姿もニコニコとご覧になっていらっしゃると思いますよ。相愛が大事にしたいことは人間同士のあいさつだけではなく、今、私があることへの感謝の気持ちなのです。この気持ちが身近な仏様の存在に気づくことにつながることを願って校門一礼を始めたのです。日々の糧 3 日朝と夕に次の言葉がありました。

3 日朝 素直な心で 「ありがとう」と口にしてみよう  
ありえないことが 今 起こったという  
それが 「ありがとう」の意味なのだ  
素直な心で 「ありがとう」と口にしてみよう

3 日夕 素直な心で 「おかげさま」と口にしてみよう  
見えないところで この私を支え続けに支えている  
それが 「おかげさま」の意味なのだ  
素直な心で 「おかげさま」と口にしてみよう

2 つめ、今日という日、そして今この瞬間についてです。

お釈迦さまの言葉に次のものがあります。

『今日すべきことを明日に伸ばさず確かにしていくことこそ、よい一日を生きる道である』です。

今日という日は二度とない日です。今という瞬間瞬間の積み重ねなのです。大切にしてくださいね。日々の糧 13 日朝に次の言葉がありました。

13 日朝 私は人生の旅路において  
今日というこの道を再び通ることはない  
二度と通らぬ「今日」というこの道  
どうして ウカウカを通ってなろう  
どうして 無意義に通ってなろう  
二度と通れぬ「今日」というこの道

3 つ目に、あなたのいのち、私のいのちについてです。いのちは目に見えませんが、あなたにも私にも、最も大切なものとして存在していますね。いや、いのちの方があなたや私を存在せしめていると表現する方が正しいかもしれません。日々の糧 14 日夕の言葉です。

14 日夕 私たちは 多くの人との  
つながりの中に生きている  
あなたも わたしも  
一人 一人  
尊い いのち  
かけがえのない人生

相愛高校に進学される生徒ばかりではありません。他の高校に進む方もいます。しかし、人としての生き方、いのちの磨き方においては、中学の三年間に涵養した相愛の宗教的情操が大きな意味を持つことに気付く機会が、これから必ず訪れます。相愛中学校で過ごした三年間をどうぞ誇りにしてくださるようお願いして式辞といたします。

平成 27 年 3 月 14 日  
校長 安井 大悟